

# ゴールドジム2回目V

## クラブ野球1次予選 METSと2次へ

社会人野球のクラブチーム日本一を決める「第40回全日本クラブ選手権」(日本野球連盟、毎日新聞社主催)の1次予選を兼ねた都クラブ春季大会は最終日の3日、府中市民球場(府中市)で準決勝と決勝の3試合があっ



優勝が決まった瞬間にベンチから飛び出し、喜びを爆発させるゴールドジムベースボールクラブの選手  
府中市民球場で

た。決勝は延長の末、ゴールドジムベースボールクラブがTOKYO O METSを7-5で降し、4年ぶり2回目の優勝を飾った。ゴールドジムの川島尚仁選手が最高殊勲選手賞と首位打者賞をダブル受賞したほか、TOKYO O METSの平良勇貴選手が敢闘賞に選ばれた。決勝に進んだ両チームは、7月4日からさいたま市の市営浦和球場と川通公園野球場、栃木県足利市の市総合運動場硬式野球場であるクラブ選手権2次予選の関東大会に出場する。

### 【大迫麻記子】

2年目で花開く

○：最高殊勲選手賞と首位打者賞をダブル受賞したゴールドジムの川島尚仁選手(23)。8打数5安打と大当たり活躍をみせた。2013年に上武大が全日本大学野球選手権で優勝した時のメンバーという逸材が、社会人2年目に入って実力を発揮し始めた。「学生時代に比べ練習時間が減る。その環境に慣れ始めた」と言い、調子が悪ければ、仕事から帰った後、自宅前の公園で納得できるまで素振

江北17年ぶり  
3回目の優勝

春季都高校軟式野球大会は3日、稻城中央公園野球場(稻城市)で第3代表決定戦と決勝の2試合があり、江北が17年ぶり3回目の優勝を果たした。江北と準優勝の早大学院、3位の日体荏原の3校は、22日から横浜市な

りをするとという努力家だ。手塚栄司監督も「球眼が良く、粘り強い」と期待をかける。2次予選に向け「チームワークがどんどん上がっている。全員野球で勝ち進みたい」と意気込んだ。

▽決勝

ゴールドジムベースボールクラブ  
110000003027  
00100200205  
TOKYO METS  
(延長10回タイブレーク)

(コ) 鈴木、川俣、吉田、星野、河西、岡岸 (ト) 南、稲名、木村、保崎、船越 (ニ) 打、今野、河西、田中 (三) 平良 (ト)

▽準決勝

TOKYO METS  
400020000128  
101110020178  
全府中野球倶楽部  
(延長10回タイブレーク)

(ト) 武田、叶、木村、本郷、船越 (全) 鎌田、武井、小林拓、本塁打、井ノ上 (全)

# 東京

TOKYO  
tokyo@mainichi.co.jp

とうきょう支局

〒100-8051  
千代田区一ツ橋  
1の1の1  
☎03-3213-9701  
FAX03-3212-5186

購読・配達は

フリーダイヤル  
0120-468-012  
(終日)

広告・折込は

どで開  
大会に  
大会  
▽第3  
中央大  
0022  
0111  
日体荏  
▽決勝  
早大  
0111  
江  
▽第  
仲間、  
上林 (全)

ゆず  
田嶋  
▽三  
吉野 (全)  
ゴ  
00  
00  
エス  
▽北  
坂、野  
器打、  
鹿子島

◇都  
(3日)  
△4  
東京朝  
目黒学  
明大中  
本  
国学  
久我  
大東大  
早稲田  
東